

はじめに

一般社団法人日本画像医療システム工業会（JIRA）は、X線装置、X線CT装置、MRI装置、核医学装置、超音波装置、画像処理システムなどの画像診断機器・システム、および放射線治療用装置、さらには、これらの関連用品などを開発、製造、販売している企業の団体です。1967年に「日本放射線機器工業会」として97社で発足以来、日本における放射線医療の発展とともに歩み続け、今日では画像医療システムとそれらの関連機器・用品を供給する会社に加えて医療ICTを事業とする企業などの参加を得て、216社（2026年3月16日現在）を擁する産業団体に成長しました。

経済財政諮問会議での答申を経て「経済財政運営と改革の基本方針2025～『今日より明日はよくなる』と実感できる社会へ～（骨太方針2025）」が閣議決定されました（2025年6月13日）。国際情勢の不確実性と国内の複合課題に備えるとともに、持続的成長と生活の豊かさの向上を「新しい資本主義」の実現として位置づけており、「賃上げを起点とした成長型経済の実現」を目指している中、GX・DX・スタートアップなどへの官民投資を成長戦略の柱の一つとしています。

さらに、2025年2月に「健康・医療戦略（第3期）」「医療分野研究開発推進計画（第3期）」が決定されました。「官民の役割分担・連携による医薬品・医療機器の開発・確保」「事業予見性拡大による、研究開発に参画するプレイヤーの拡大」「統合プロジェクトの再編」「最先端の研究開発を支える環境の整備等」「データ利活用による研究開発成果の拡大」などを基本方針として掲げています。

JIRAは、医療・介護などの社会保障システムが持続可能なものとして維持発展すべきこと、画像医療システム産業のグローバル化がますます進む中、規格・規制についてもグローバルな整合が必要であることなどを、明確で具体的な要望・提言として発信することが重要であると考えています。

本書は、画像医療システム産業の関係者にとっての基本情報を整理してわかりやすい形で提供することを目的としており、画像医療システム産業を取り巻く環境や産業の現況を示すデータ・資料に数行の解説を加える形で、2012年から毎年発行しています。

JIRAの基本方針として、画像医療システム産業を中心に整理して提供することが特に重要であると考え、「DATA BOOK 2026 図表で見る画像医療システム産業」では、最新のデータおよび情報を反映した編集を行っています。

以下、各章の内容概要について紹介します。

第1章では、グローバルに見た医療機器産業全般の現状を整理しています。世界・日本の市場規模、日本の国際競争力、特許出願動向、医療機器承認・認証件数の推移など、さまざまな課題の基礎データを掲載しました。

第2章では、医療機器産業の中でも画像医療システム産業にフォーカスしています。産業の現状、国内市場の規模・国際競争力、買い替え年数、保守点検実施率、2026年度診療報酬改定に関する結果や動向などを提示しています。

第3章では、2025年度の「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太方針2025）」など最新の国家戦略の中から医療機器産業に関係するものや、「健康・医療戦略（第3期）」「医療分野研究開発推進計画（第3期）」の概要説明とともに、AI基本計画、医療機器のサイバーセキュリティ対応、医療機器産業の国際展開についても解説しています。

第4章では、各種の医療・医療経済関連指標、関連産業の入手可能な最新データを集め、国際比較データについてもより見やすくなるように整理して掲載しています。

最後には、JIRAの沿革と組織、そして2024年に発表した「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2030」を掲載しました。

安全で安心な医療サービスが受けられ、健康で安定した生活ができる社会に向けて、今後も画像医療システム産業界は引き続き貢献していく所存です。

ぜひ本書をご高覧いただき、画像医療システム産業に対するご理解と産業界の活動へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。また、このDATA BOOKを日ごろの業務にご活用いただくとともに、忌憚のないご意見、ご要望をいただければ幸いです。

はじめに

本 DATA BOOK に関する記載内容について	4
--------------------------	---

第 1 章 医療機器産業の現状 6

1 医療機器産業の市場	6
1.1 世界の市場	6
1.2 日本の市場	7
1.3 輸出入の推移	8
1.4 分野別の輸出入	9
2 医療機器の製品開発	10
2.1 特許出願動向—五庁間における全体像と医療機器出願推移	10
2.2 研究開発費	11
2.3 医療機器承認・認証件数の推移	12
2.4 医療機器プログラムの承認・認証の動向	13
2.5 医療機器の不具合報告の動向	15

第 2 章 画像医療システム産業の現状 17

1 画像医療システムの市場	17
1.1 中小企業が多い画像医療システム産業	17
1.2 国内市場規模	18
1.3 製品別輸出入推移	19
1.4 買い替え年数	20
1.5 稼働年数	21
1.6 保守点検実施率	22
2 画像医療システムの標準化	23
2.1 画像医療 ICT における相互運用性と安全性	23
2.2 IEC 規格と JIS 化推進	24
2.3 放射線・線量管理に関する主な組織と活動内容	26
3 画像医療システムの診療報酬	28
3.1 診療報酬改定における改定率とその変遷等	28
3.2 診療報酬改定の基本方針と「画像診断」における施設基準の届出施設数の推移	29
3.3 「放射線治療」と「医療安全」における施設基準の届出施設数の推移	30

第 3 章 医療機器産業の将来展望 31

1 健康・医療に対する国家戦略	31
1.1 骨太方針、成長戦略／新しい資本主義	31
1.2 経済財政運営と改革の基本方針 2025	32
1.3 健康・医療戦略、医療分野研究開発推進計画	33
1.4 健康・医療戦略の推進体制	36
1.5 医療機器開発支援ネットワーク	37
1.6 医療機器基本計画	38
1.7 重点分野における医療機器の研究開発の促進	39
1.8 新たな AI 戦略 (AI 基本計画)	40
1.9 プログラム医療機器 (SaMD) の実用化促進	41

2	医療機器産業を取り巻く環境	42
2.1	臨床研究法	42
2.2	個人情報保護法	43
2.3	令和2年改正個人情報保護法	44
2.4	改正次世代医療基盤法	45
2.5	医療情報の安全管理に関するガイドライン	46
2.6	医療機器のサイバーセキュリティ対応	47
3	医療・介護の提供体制	48
3.1	地域包括ケアシステム	48
3.2	医療計画・介護保険事業（支援）計画	49
3.3	総合確保方針	50
3.4	保健医療情報の共有（医療DX）	51
3.5	全国医療情報プラットフォーム	52
4	医療機器産業の国際展開	53
4.1	SDGs	53
4.2	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）	54
4.3	アジア健康構想	55
4.4	アフリカ健康構想	56
4.5	DITTA活動	57

第4章 経済・医療環境の関連統計 **59**

1	社会動向	59
1.1	人口	59
1.2	平均寿命	61
1.3	高齢化	62
2	医療動向	63
2.1	患者	63
2.2	医療施設	66
2.3	検査	68
2.4	医療従事者	75
2.5	医療費	81
3	産業動向	83
3.1	医療機器承認	83
3.2	薬事工業生産動態統計	85
3.3	画像医療システム統計	87
3.4	保健医療福祉情報システム市場統計	92
3.5	画像診断機器展示会の国際比較	93

JIRA の概要 **94**

1	JIRAについて	94
1.1	沿革	94
1.2	取り扱い品目	94
1.3	事業・主な活動	95
1.4	組織図	95
2	JIRA 画像医療システム産業ビジョン2030	96
2.1	JIRA 画像医療システム産業ビジョン2030について	96
2.2	2030年 画像医療システム産業が目指すビジョン	97